

## 愛知県環境学習等行動計画アンケートについて

### 1 実施時期

平成 28 年 10 月

### 2 調査目的

愛知県環境学習等行動計画（以下：行動計画）の評価のために、行動計画の 3 本の柱や、各主体に期待される取組について前回調査（平成 25 年度）進捗状況を把握するとともに、連携・協働を推進するために愛知県が今後行うべき施策の方向性を探る。

### 3 調査内容

- (1) 平成 27 年度に実施した環境保全活動及び環境学習・環境教育について
- (2) 連携・協働を推進するために愛知県が力を入れるべき施策について（新規設問）

### 4 調査対象・方法

対象		方法
県民 3,000 名	県政世論調査の対象者	県政世論調査 (公開不可であるため、調査票は添付していません)
事業者 約 420 事業者	環境パートナーシップ・CLUB (EPOC) 会員 名古屋商工会議所 eco クラブ会員	電子申請システムによる電子回答により実施
NPO 約 420 団体	愛知県知事又は名古屋市長を所管庁としている特定非営利法人のうち、環境保全を図る活動を行う者	
学校 約 1,400 校	県内の公立、私立小中高等学校、特別支援学校	
幼稚園 約 420 園	愛知県私立幼稚園連盟に加盟している幼稚園	
大学 約 70 校	県内の大学（短期大学を含む）	
市町村 54 市町村	県内全市町村の環境を所管する部局	

### 5 調査結果の活用方法

- ・ 平成 25 年度実施アンケートの結果と比較し、進捗状況などから行動計画の評価を行うとともに、平成 29 年度に予定している行動計画の改定のための資料とする。
- ・ 愛知県ウェブページで公開する。

### 6 前回調査（H25）からの主な変更箇所

〈市町村を除くすべて〉

- ・ 連携・協働を推進するために県が力を入れるべき施策を問う設問を追加

〈学校向け〉

- ・ 問 3 ESD の導入状況について、ESD を知っているかという設問から、どのような教科に導入しているかを問う形に変更
- ・ 問 4 環境教育について、総合的な学習の時間における実施状況を問う設問を新たに追加
- ・ 問 5 環境教育について、情報の収集源を問う設問を新たに追加

〈大学向け〉

- ・ 例年実施している、大学における環境に関する取組調査を本アンケートに取り込み、問 2 研究、講座・イベントとして新たに設問を追加

〈アンケート方法〉

- ・ 回答者の基本情報記入欄に次のような分析のための項目を追加する。  
事業者：従業員数、業種  
NPO：主な活動内容  
学校：ユネスコスクール・スーパーサイエンスハイスクール等の指定・登録状況

### 7 スケジュール

8 月下旬 委員への調査票事前確認の依頼

9 月 1 3 日 第 2 回協議会（アンケート実施の報告）

10 月上旬～中旬 アンケートの実施

10 月下旬～11 月中旬 アンケートの集計・分析

12 月中旬（予定） 第 3 回協議会（アンケート結果の報告）

愛知県環境教育等推進協議会（5月25日）での委員意見

意見概要・趣旨	対応案
<p><b>【全体】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的や、課題解決のために知りたいことを明らかにして調査すべき。「何のために、何を明らかにしたいのか」と「それをどう訊くのか」をセットで、メリハリをつけて、主体別に丁寧に組み立てる必要がある。</li> <li>困っていることの課題解決のための資料づくりの一環として、必要なアンケートを行うのなら意味がある。</li> <li>H25 と同様の調査については、数値の変動に意味があるものにすべき。</li> </ul> <p><b>【事業者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前回、事業者の回答率が低かったことが気になる。また、調査結果から、事業者の立場として取組を進める方策が把握できるのか疑問。</li> </ul> <p><b>【NPO】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>NPO 向けは、得意分野や協働・連携先により回答が変わってくることを踏まえてバランスよく拾える調査にすべき。</li> </ul> <p><b>【学校】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校向けは、回答する教員の捉え方により回答が異なってくる。回答者を明確にして依頼すべき。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境学習に関する情報は、学校へ届いているようで届いていない。学校へ効果的に届ける方法を調査する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査目的、調査対象、調査方法を明らかにして、アンケートを実施する。</li> <li>H25 年度に行った調査結果と比較し、数値の変動の意味を分析したい。</li> <li>依頼時に、事業者役に役立つ情報を提供するなどして、回答率が上がるように工夫する。また、調査結果を分かりやすくフィードバックする。（問5参照）</li> <li>基本情報に NPO の主な活動内容を記載してもらい、集計・分析の参考としたい。（調査票「基本情報」参照）</li> <li>学校の活動の全般を把握している者に回答してほしい旨を明記するとともに、基本情報に回答者の役職も記入を依頼する。</li> <li>教員が情報等を必要とした時、どのような情報源にアクセスするのが分かる設問を新設し、その結果を基に効果的な方法を検討していく。（問5参照）</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>学校が求める環境教育が何なのか、また NPO や行政がどのような支援ができるのかを確認する調査がよいのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校が必要とする施策を把握するための設問を新設。調査結果を NPO や事業者に周知する。（問7参照）</li> </ul>
--	--

事前確認での委員意見

意見概要・趣旨	対応案
<p><b>【事業者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業者規模の区分が分かりにくいのでは。</li> <li>あいち環境学習プラザや環境学習コーディネーター事業の利用状況の設問を追加してはどうか。</li> </ul> <p><b>【学校】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本情報の登録指定の選択肢に S G H（スーパーグローバルハイスクール）を追加してはどうか。</li> <li>問3の E S D の視点の導入について、給食や清掃などの学校活動での実施をくみ取ってはどうか。</li> <li>問5の環境学習に関する情報の収集方法について、選択肢を追加してはどうか。</li> </ul> <p><b>【大学】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教員養成がある大学だけが回答するの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員数に変更する。</li> <li>今回のアンケートでは、情報を添付する形で、利用促進を図ることとしたい。</li> <li>意見をもとに追加し、回答者にわかりやすいようカタカナ表記とした。</li> <li>「授業時間外の学校生活」の選択肢を追加する。</li> <li>意見をもとに追加した。</li> <li>県内全大学に依頼する。また、教員養成のない大学にも回答していただけるよう、教員養成に係るカリキュラムに関する設問を繰り下げた。</li> </ul>